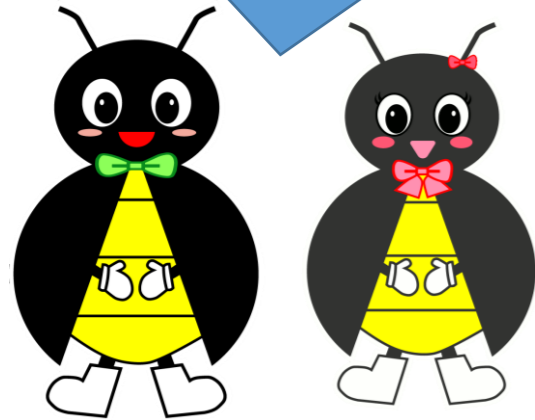


二条里づくりの会 便り〔7月編〕



本会のひと部会が中心となって去る今月17日（海の日）、大阪府高槻市の小学生：12名、保護者：11名、引率者：3名をお迎えしての「高槻市サマーフレンドシップ2017」が、ほたる会館を会場に行なわれました。

10時半前に到着した一行は、オリエンテーションの後、親子体験活動と称して都会では中々体験出来ないであろう「火付け体験」に挑み、どんどん木端や薪を燃やしていきました。

その後、当日本会からお手伝いに出て頂いた男性陣：8名は、二条到着の直前に高槻隊が持石海岸で体験して来た「地引き網」での収穫物：小アジや白キスの小魚を天ぷらにし、イカ焼きもし、仕上げは「二条米の銀シャリ」を羽釜で炊きます。一方の竹田尚則さんと女性陣：4名は、イノシシ丼の具や味噌汁、漬物、デザートづくりに奮闘し、いよいよ11時過ぎから「イノシシ丼と小魚の天ぷら」メインの昼食会が始まりました。

こんな素朴な食事は、人口35万人の高槻のような都会では中々食べれないのでしょうか。子供達は勿論のこと、保護者の大人達もおかわりをします。小魚の天ぷらは、頭から腹ごとパクリ！本当に美味しかったのではないのでしょうか（笑）

食事の後は、今回の「火付け体験」の事を聞き、堀江応援隊員さんが持参してくれた轆轤鑽（ろくろひきり）で、大昔の火熾し（ひおこし）をリアル体験！これがなんと大好評で、子供から大人まで大興奮！5分以上、豊田センター長と頑張った男の子もあり、最終的に着火までは至りませんでした。それでこそ大昔の人々の苦勞が分かってもらえたような気がします。

12時半から解散式を行ない、途中から駆け付けて下さった柳井秀雄教育長さんの挨拶、品川会長の挨拶に続き、高槻の2少年が感謝の挨拶をし、最後は芝生に出て、みんなで記念撮影をしました。

予定より10分ほど早い12時50分、本会のメンバーや市の職員さんに見送られ、高槻の皆さんは帰って行かれました。田舎暮らしとはどういうものか？中には故郷のある子供や保護者もいたかも知れませんが、だんだんと故郷への帰属意識が薄まっているように思われる今日この頃、この取り組みは「都会人」には勿論有益だと思われませんが、地元の私達にも何かを気付かせる良い機会だと感じさせられた、まだ梅雨明けしない暑～い1日でした！



華麗な手さばきで
二条米をとぐ！
岡崎三喜男氏

イノシシ肉の段取りは
お手のもの！
竹田尚則氏



到着！
案内役は、
センター長



イカ焼きを監督する！
佐田牧雄氏



顔が写らない！
調理4人娘



羽釜炊きは、
任せなさい！
火付け3人組



ほぼ1人で、小魚の
天ぷらを仕上げる！
松本光雄氏



オリエンテーションにて、挨拶！
品川会長



さあ、炊けたぞ！
自慢は
そこそこに！
豊田繁雄氏と
岡崎三喜男氏



高槻の子は
初体験かな!?
「火付け体験」

自分で、好きなほどよそって！

みんなの味噌汁を、よそってくれた彼！



「イノシシ丼」の具、
完成～！
味は、絶品！



「火付け体験」は、便利と恐怖の両方を味わえる！



みんなで一緒に、「いただきま～す！」



「うん！ 美味しい、ウマイ」



子供ばかりか、大人もおかわり！



集合写真。「ハイ、チーズ！」



本物の轆轤鑽にて、
「火熾し！」
もう少しで着火する
ところでしたが、
残念でした～！



柳井教育長、挨拶！

品川会長、挨拶！



高槻の2少年、
感謝の挨拶！
「良く
出来ました！」



最後の見送り。「またおいでな～！」

